

## △ローガン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 アモスラロール塩酸塩 Amosulalol Hydrochloride 【分類】 降圧剤 [α, β 遮断薬]

【単位】 △10mg・▼20mg/錠

【常用量】 20～60mg/日

【用法】 分2～3

【透析患者への投与方法】 2/3 に減量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Ccr 10mL/min 以上：減量の必要なし，Ccr<10mL/min：2/3 に減量 (5)

【その他の報告】 慎重投与 (1) Ccr 20mL/min 未満で半減期の著明な延長がみとめられているが，減量が必要とまでは断言できない (1)

【特徴】 心機能にほとんど影響を与えずに全末梢血管抵抗を下げる．拡張期血圧の降圧に効果的．

【主な副作用・毒性】 徐脈，動悸，房室ブロック，めまい，低血圧，頭痛，眠気，うっ血性心不全，喘息発作，涙液分泌減少，消化器症状，鼻閉など

【吸収】 良好に吸収される (Nakashima M, et al: Clin Pharmacol Ther 1984 PMID: 6478731)

【F】 100%，初回通過効果をほとんど受けない (Nakashima M, et al: Clin Pharmacol Ther 1984 PMID: 6478731)

【tmax】 2～4hr (1)

【代謝】 硫酸抱合体，5-OH 体，5-[1-hydroxy-2-[[2-(5-hydroxy-2-methoxyphenoxy)ethyl]-amino] ethyl]-2-methylbenzenesulphonamide が主な代謝物 (Kamimura H, et al: Xenobiotica 1985 PMID: 3929481) 主代謝物は M-3 硫酸抱合体で，活性はない (1)

【排泄】 腎，尿中未変化体排泄率 30.1% (Kamimura H, et al: Xenobiotica 1985 PMID: 3929481)

【CL】 135mL/min (Clin Pharmacol Ther 36: 436-43, 1984) 8L/hr (1)

【t1/2】 4～6hr (1) 2.8hr (Clin Pharmacol Ther 36: 436-43, 1984)

【蛋白結合率】 96～98% (1)

【Vd】 0.75L/kg (Nakashima M, et al: Clin Pharmacol Ther 1984 PMID: 6478731)

【MW】 416.92

【透析性】 蛋白結合率が高いため，ほとんど除去されないと思われる (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 6.56 [1-オクタノール水系，pH7.5] (1) 【pKa】 7.72, 10.04 (1)

【更新日】 20241009

※正確な情報を掲載するように努力していますが，その正確性，完全性，適切性についていかなる責任も負わず，いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし，それらを利用した結果，直接または間接的に生じた一切の問題について，当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は，日本国特許法並びに国際条約により保護されています。